

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズデイサービスGROW		公表日		2025年 3月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・マットを利用してスペースを確保しています。	・人数によってはスペースが取れず接触しそうなこともあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	・職員同士声を掛け合ってカバーしております。	・人員配置は満たしていますが、送迎等の状況によって人数が一時的に足りていない時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・出入りのタイミングで職員がつくことでご家族様の負担がない様に努めています。	・スロープの屋根がない、出入りに段差、狭さがあり、環境の配慮が充分とは言えない状況です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・利用時間前後の清掃・消毒の実施をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ベッドスペースをカーテンで区切り個別化に対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々のミーティングで情報共有し振り返りしています。 ・シフトによってはミーティングに参加できない日もあり、全員への周知が出来ていない時もあるため、その際はノートを利用して振り返れるようにしています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・より良い支援のために機会の頻度を増やしていきたいと思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者委員会を設置し改善につなげていますが、改めて職員にも周知していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・児童の様子を適切に観察し、日々のミーティング時に情報共有することで状況確認を行なっています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援管理責任者がガイドラインに基づいて原案を作成し、ご家族の希望を反映したうえで、専門職員含む職員全員で確認・追加・修正等を行うことで具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・担当が立案し、職員全員で確認することで毎月の活動を制作しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・レクが固定化されやすいため、ミーティングを定期的に行い、新しい活動を提案していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・シフトの関係で当日に振り返りができていませんが、翌日に確実に行っていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○				・「4つの活動」を改めて職員に周知し、活動を計画、実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			・活動時等に選択の場面を設け、自己選択できるよう支援を行なっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・直接のやり取りはできていませんが、相談員やご家族の方から情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・直接のやり取りはできていませんが、相談員を通じて施設での様子をや情報を提供しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				・今後、児童発達支援センターとの連携をとれるように機会を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○				・現在交流の機会が持てていませんが、状況を見て活動計画を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				・協議会に参加はできていませんが、支援会議棟の会議に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				・必要に応じてご家族の方へ助言等のアドバイスをを行なっています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			・契約時に説明を行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・必要時に面談や助言の機会を設けています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・新年度、開催を予定しております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の行事予定やお知らせ等SNSサービスを利用して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・施設の規模を考えると地域の方を招く行事等は開催が難しいですが、地域の行事や活動には今後参加できるよう検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを作成し、月一回の訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・指示書を頂いている児童はいませんが、ご家庭から情報を頂きアレルギーのある児童には必ず確認してから提供を行なっています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・入職時に研修を行い、職員に周知しています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束が必要な場合には、児童やご家族の方に事前に十分説明し了解を得た上で、記録に残していきます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズデイサービスGROW		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童が清潔で心地よく過ごせる環境整備	・利用時間前後の清掃、消毒を実施している。 ・食後の口腔ケア(歯ブラシ・ガーゼ使用)を行なっている。	・利用時間中にも適宜消毒等を行うことで感染症防止を徹底する。 ・口腔ケアを実施していることを今以上に保護者の方に周知し、道具等を持参いただき定期的なケアを行う。
2	・学校との情報共有	・年1回は学校との情報交換会を行い、GROWでのご様子や学校での活動を見学、情報共有する機会を持っている。 ・学校へのお迎え時に先生からその日の様子を確実に引継ぎしている。	・必要に応じて様々な職種職員にも参加してもらい、より専門的に支援に当たれるようにしていく。
3	・日々の活動記録	・SNSを利用し、その日の活動の様子を写真付きでご家族の方へお伝えすることで文章だけでは伝わらない部分も広く知っていただいている。	・支援内容をレク活動だけでなくリハビリや介助の様子も写真付きで残すことで計画更新時等に振り返りやすい様に行っており、継続していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員配置	・基準を満たす職員は配置されているが、送迎等で一時的にフロアに人手が少なくなることがある。	・職員同士で声を掛け合い、手不足な部分に配置できるようにチームワークでカバーし合っている。
2	・他の放課後児童クラブや地域の児童と活動する機会がほぼない	・入浴支援等の優先すべきサービスがあることや、その日の児童の体調・天候等に左右されることもあり、交流の為の外出行事がなかなか企画できていない。	・長期休みなど比較的時間をとりやすい時期等に小グループで進められるように計画していきたい。
3	・玄関スロープに屋根がないため、出入りや乗降時に児童や保護者に負担をかけてしまっている	・建物の構造上、後付けで屋根をつけることが難しく現状解決への見通しが立っていない。	・来所、退所時には玄関近くに職員を配置し、雨等で児童が濡れないように傘をさすなどの対応を行なっている。